

平成29年 9 月29日

東京都知事

小池百合子様

中央区長 矢田美英

中央区議会議長 磯野 忠

### 市場移転及び東京2020大会にかかる要望について

日頃より、中央区政の推進にご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

築地市場の移転につきましては、豊洲市場への早期移転とともに築地の再開発に向けた基本方針が示されたところであります。

また、東京2020大会に向けましては、東京都では選手村の整備工事を順調に進められていることと存じております。本区といたしましても大会の成功に向け、全面的に協力をさせていただき、最高の大会となるように尽力してまいり所存であります。

しかしながら、築地市場の移転につきましては、「築地は守る、豊洲を活かす」発言の後現在地再整備を求める声も再度上がってきており、具体的な実行計画やその時期が見えず、区民や事業者が安心して将来を見越す状況には未だ至っておりません。また、東京2020大会につきましては、晴海地区をはじめ周辺地域の区民生活への影響は、極めて大きいものと捉えております。そしてさらに大会後の選手村跡地のまちづくりにつきましても、新たに一万人を超える人口増が見込まれる中、交通環境に関するインフラ整備など極めて重要にもかかわらず未解決の課題が山積していることは否めません。

いずれも本区をはじめ臨海部の将来の発展を左右する重要なものであり、大会開催まであと3年を切った今、その具体的な方向性を示していかなければ、大会後の円滑なまちづくりはもとより区民生活に重大な影響を与えるものと認識しております。

こうしたことから大会後のまちを担う地元区として、今般、喫緊に整理・解決していただきたい下記の事項につきまして、貴職宛て要望いたします。

世界中から注目を受ける大都市東京が一大転換期を迎えている今こそ、叡智を集結して将来にわたる東京の持続的発展を実現していかなければなりません。是非とも意を汲んだご対応方よろしくお願いいたします。



## 記

### 1 築地市場の豊洲への移転について

築地市場の豊洲への移転が改めて表明されたところであるが、築地市場跡地については、環状第二号線の整備、東京2020大会での輸送拠点としての活用なども予定されており、その具体化については、関係者はもとより地元自治体である本区とも緊密に連絡・調整を図り、早期にそのスケジュールを示すこと。

### 2 環状第二号線道路整備について

平成31年度末を目途に、地上部道路の整備を完了する方針が示されたところであるが、接続部となる新大橋通りや晴海通りなど周辺道路に慢性的な渋滞を招くことが懸念されることから、都市計画決定で示されている本線（地下道路）の早期全線開通に向けた整備計画や工事手順を早急に示すこと。

### 3 大会時における築地市場跡地の活用について

築地市場の跡地については、大会時の輸送拠点として活用することが示されたところである。大会時には多くの観光客等を受け入れる大都市東京において、公共交通の玄関口である東京駅からの利便性も考慮し、大型バス等の交通広場としての整備や大会時の給油・洗車施設など諸施設の配置等に当たっては、地元区と十分協議を行うこと。

### 4 築地の再開発に向けた検討について

築地市場の跡地については、再開発をする方向で検討が進められるとのことであるが、食文化の拠点として築地が育んできた活気とにぎわいを継承していくことは、大会後も多くの観光客を受け入れる成熟都市・東京において重要な課題であり、平成28年3月31日に本区と締結した「東京都中央卸売市場築地市場跡地の暫定貸付けに関する覚書」を確実に履行し、本区および地域が取り組むまちづくりへの協力を継続していくこと。また、将来的にも都心部の発展に不可欠な交通広場機能を持たせた計画とすること。さらに、当該敷地と環状第二号線とを結ぶ円滑な車両動線の確保についても検討すること。これら具体的な検討に当たっては、関係者はもとより地元自治体である本区の意見を聞きながら進めていくこと。

### 5 月島地域の交通環境の改善について

大会時はもとより大会後において、都心と臨海部を結ぶ上で勝どきや晴海など月島地域の交通環境の改善を図ることは、本区のみならず東京の将来の発展において極めて重要な課題であることから、路線バスルートの再編・拡充を確実に行うこと。

環状第二号線地上部道路の開通に合わせ、BRT事業計画で示されている勝どきルート及び晴海・豊洲ルートの運行を開始すること。また、大会後早期に幹線ルートの運行を開始するとともに、選手村から住宅への改修工事が竣工し始める平成34年度には、選手村ルートの運行開始を確実に行うこと。これと併せて、BRT事業計画で「構想路線」とされている環状第二号線から東京駅間のルートについて具体的な検討を進めるとともに、月島地域から東京駅など都心部への路線バスルートの検討を行い、月島地域の交通環境の改善を図ること。

さらに、将来的には湾岸エリアのさらなる発展が見込まれることから、都心部・臨海地域地下鉄構想の早期着工・早期開通に向け、常磐新線との直通運転化等も含めた事業計画の検討に積極的に取り組んでいくこと。

以上